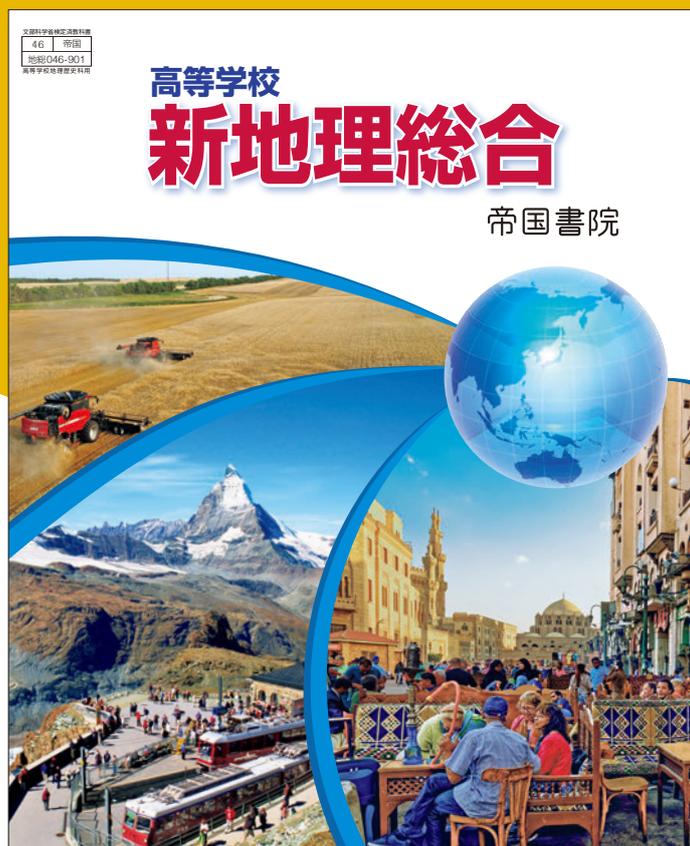


高等学校 新地理総合

高校生の地理総合

指導資料・関連教材 カタログ



地総 046-901



地総 046-902

- 指導資料 Web サポートコンテンツ付 …………… p.2
- 教科書準拠ノート …………… p.12
- デジタル教材 …………… p.14

高等学校 新地理総合・高校生の地理総合

指導資料Webサポートコンテンツ付

内容

高等学校 新地理総合
高校生の地理総合

- ① 指導用教科書 AB判 / 240 ページ
- ② 使い方・Web サポート等案内冊子
- ③ 指導書 Web サポート

1 指導用教科書

- 教科書本体の見開きページの縮刷版をもとに構成した、教科書と同じ AB 判サイズの指導資料です。

↓ 高等学校 新地理総合 p.76-77 に対応したページの例

3 指導書Webサポート

- 授業スライドや各種ワークシートなど、授業の準備や評価で役立つデジタルコンテンツをご利用いただけるサービスです。
- 帝国書院ウェブサイトから会員ページにログイン後、「使い方・Web サポート等案内冊子」に記載されたアクセスキーをご入力いただくことで、コンテンツ一覧ページにアクセスできます。
- ご利用いただけるデジタルコンテンツは、下記の通りです。

- | | |
|-----------------------------------------------------|-------------------------------|
| ①. 授業スライド (.pptx/Google スライド).....本冊子 p.6 | ⑩. 学習課題・確認・説明の解答例 (.txt) |
| ②. 授業プリント (.docx).....本冊子 p.7 | ⑪. 年間指導計画案・評価規準例 (.xlsx) |
| ③. 評価問題例 (テスト例) (.docx).....本冊子 p.8 | ⑫. 映像資料 |
| ④. 特設ワークシート (.docx).....本冊子 p.9 | ⑬. 図版アニメーション |
| ⑤. 見通し・振り返りシート (.docx/Google スプレッドシート).....本冊子 p.10 | ⑭. 教科書 QR コンテンツ〈一問一答〉 (.xlsx) |
| ⑥. 教科書本文 (.txt).....本冊子 p.10 | ⑮. 教科書 QR コンテンツ〈用語解説〉 (.xlsx) |
| ⑦. 教科書紙面ビューア.....本冊子 p.11 | ⑯. 白地図集 (.jpg) |
| ⑧. 教科書掲載図版〈カラー/モノクロ〉 (.jpg).....本冊子 p.11 | ⑰. 教科書 QR コンテンツへのリンク |
| ⑨. レイヤー分けした主題図 | ⑱. GIS 主題図クリエイターへのリンク |
| | ⑲. アクセス WebGIS ワークシート (.pdf) |

↑ ④ 特設ワークシート (.docx) の例

↑ ⑱ GIS 主題図クリエイターの例

2 使い方・Web サポート等案内冊子

- 指導用教科書の使い方と、Web サポートのコンテンツを紹介する冊子です。
- 指導用教科書に何が書かれているか、どのように使えばよいかを紹介しています。
- 指導書 Web サポートに収録しているコンテンツの概要と、帝国書院ウェブサイトから Web サポートを利用するためのアクセスキーを掲載しています。

指導資料

準備

デジタル教材

1 指導用教科書

- 教科書本体の見開きページの縮刷版をもとに構成した、教科書と同じ AB 判サイズの指導資料です。
- 教科書掲載内容の解説だけでなく、授業の流れや板書例、地図帳活用のポイントなども掲載。この 1 冊で授業の要点を押さえられます。

↓ 高等学校 新地理総合 p.76-77 に対応したページの例

2部1章2節 選択事例 自然① モンスーンの影響を受ける地域での生活 —東南アジア—

1 モンスーンの影響と人々の生活

1 雨季のトンレサップ湖 / 2 乾季のトンレサップ湖 / 4 トンレサップ湖の高床住居

解説 カンボジアの中央部にあるトンレサップ湖は、メコン川とつながっている。乾季に湖水はメコン川に流れるが、雨季には水位が上昇した川の水が湖に逆流する。湖は起伏の小さい平原にあるため、雨季に増水すると、湖面は乾季の約3倍にも拡大する。湖畔に住む人々の住居は、高い杭に床と壁を縛り、水位の上下に合わせて床の高さを調整する。彼らの多くは漁業に従事しており、乾季には湖より近い場所につくった仮設集落に移動する人もいる。

3 季節による風向と降水量の変化

解説 東南アジアでは、北半球の夏は南西季節風がよく吹くため、大陸部を含めて東南アジアの広い範囲で雨季になる。インドシナ半島、マレー半島西部、スマトラ島西部は7月が、マレー半島東部、ボルネオ島北西部、フィリピン東海岸、インドネシアの南半球は1月が、山脈に対して風上側にあたるため、降水量が多くなる。一方、冬は、北東季節風によって大陸部は乾季となり、マレー半島東海岸、ボルネオ島北西部、フィリピン東海岸は雨季となる。

6 東南アジアの交易と宗教の伝播

解説 海上交易活動の拠点となった東南アジアには、4〜5世紀にかけてサンスクリット語などのインドの文化とヒンドゥー教、大乘仏教が伝わった。13世紀前後になると、ヒンドゥー教と大乘仏教は衰退し、代わって大陸部にはスリランカで成立・発展した上座仏教が伝来した。一方、島嶼部には、

教科書本文の縮刷版。モンスーンの影響と人々の生活に関する図表と写真が掲載されている。図表には、雨季と乾季の降水量の比較、季節による風向の変化、東南アジアの主要な交易の歴史などが示されている。写真には、トンレサップ湖の高床住居の様子が写っている。

教科書本文の縮刷版。東南アジアの言語と宗教の伝播に関する図表と写真が掲載されている。図表には、東南アジアの主要な言語の分布、東南アジアの言語と宗教の伝播の歴史などが示されている。写真には、ベトナムの民族衣装を着た人々の様子が写っている。

18世紀ごろから香辛料貿易を通じて、ムスリム商人からイスラームが伝えられた。これらは土着的な信仰とも融合しながら、今日まで各民族の社会・文化の形成に大きな影響を与えてきた。

7 東南アジアの言語と宗教の伝播

読み解き ▶ 解説参照。
解説 東南アジアの主要な言語を大きく四つのグループに分類すると、インドシナ半島の東部(オーストロアジア語族)、中央部(タイ・カダイ諸語)、西部(シナ・チベット諸語)と、島嶼部(オーストロネシア語族)に分けられる。一方、広く信仰されている宗教は、インドシナ半島のほとんどの地域では仏教、島嶼部の大部分ではイスラーム、フィリピンではキリスト教(カトリック)である。言語・宗教ともその分布を詳細にみれば、都市には中国やインドの文化要素である中国語・タミル語やヒンドゥー教が分布し、またインドシナ半島の山間部では上記以外の言語や宗教を含めてモザイク状の分布がみられる。

本文「プミプトラ政策」

解説 プミプトラとは、マレー語で「土地の子」を意味し、マレーシア政府の定義では、マレー人のほかにマレー半島やサバ州・サラワク州の先住少数民族も含まれる。プミプトラ政策とは、人口では多数派だが、経済的には中国系住民やインド系住民に及ばないプミプトラの所得水準を引き上げようとするもので、教育・就労・生活・投資などの面でプミプトラを優遇する政策であった。政策は1990年にいったん終了したが、その方針はその後も継続している。この間、マレー人主導の金融などが発展し、マレー人の起業家も育成された。この政策の下、プミプトラのための大規模な農業開発や都市開発が実施され、彼らの所得水準は上昇したが、他方で政府への依存傾向もみられるようになり、華人やインド系住民の間で、政策に対する批判が強まっている。

授業の流れ

導入

(1) 導入の活用

写真112から、水位がまったく異なることを読み取らせ、このような現象がなぜ発生するのかを予想させる。

展開

(2) トンレサップ湖を例に季節風(モンスーン)について考えさせる

発問例 東南アジアで吹く風は年中同じ風向きだろうか。
→図13から、季節による風向きの変化とそれがもたらす降水量の変化を確認させつつ、トンレサップ湖の水位が変化する理由について説明させる。

(3) 東南アジアにおける気候の違いについておおまかにとらえさせる

発問例 東南アジアは全域で同じ気候なのだろうか。
東南アジアでは大陸部と島嶼部で異なる気候となっていることを、季節風の影響や赤道からの位置を確認させつつ、とらえさせる。

(4) 大河川にある三角州(デルタ)を地図帳で確認させる

大河川の河口部には三角州が広がっていることを確認させ、生活には不向きだった場所が、人々の工夫により農業・商業が活発になったことを、大都市が流域にあることから理解させる。

(5) 東南アジアの民族的な特徴を理解させる

季節風の影響で古くから交易の拠点になったこと、それにより多様な宗教や言語が広まり、多民族国家が形成されたことを理解させる。

まとめ

(6) 本時の振り返り

学習課題に対する解答を考えさせ、クラス全体で共有させる。

板書例(要点整理)

モンスーンの影響を受ける人々の生活

- ・ 東南アジア
- ・ インドシナ半島を中心とする大陸部、マレー半島および列状に連なる島々からなる島嶼部
- ・ 赤道付近の島嶼部→熱帯雨林気候
- ・ 大陸部…季節風(モンスーン)の影響により、夏に雨季、冬に乾季→サバナ気候
- ・ 環境を改変した暮らし
- ・ 大河川の河口付近には広大な三角州(デルタ)が発達
- ・ …雨季には水没するため居住や農業には不向き
- 運河や水路の敷設→人々が移り住んで、農業・商業が活発に

モンスーンを利用した交易の歴史

- ・ 古代から盛んな海上交易→季節風を活用した交易
- ・ …西アジアのムスリム商人、中国やインドから多くの人が渡来
- イスラーム(イスラム教)がマレー半島や周辺の島々に広がる
- ・ 大陸を伝ってタイやカンボジアでは仏教が広がる
- 現在でも地域の生活に大きな影響を与える

さまざまな民族が共に暮らす社会

- ・ 交易や植民地化の歴史→東南アジアが多民族国家となる要因(例)マレーシア
- ・ マレー系が人口の7割だが、中国系住民(華僑・華人)やインド系も多い
- ・ …多言語を使用する社会(他民族間では英語も使用)
- ・ 中国系住民とマレー系住民の間で経済格差→対立が生じた
- ・ …マレー系住民を優遇するプミプトラ政策の導入
- 農業以外の分野にも進出できるよう配慮

学習課題：季節風(モンスーン)は、東南アジアの人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。

〈考えるポイント〉

季節風(モンスーン)は地域にどのような自然現象を発生させているのかを理解する。それが人々の生活にどのように関わっているのかを考える。

〈解答例〉

季節風(モンスーン)の影響により、雨季と乾季で湖の水位が大きく変わるため、家を高床にして対応している。また、古くから季節風を利用した交易の拠点となり、その影響で多民族国家となっている国が多い。

〈評価ポイント〉

季節風(モンスーン)が人々の生活に与える影響について、住居における工夫や貿易に役立った点、多民族国家を形成する要因となった点などに触れつつ説明できているか。

事例の振り返り：東南アジアの自然環境は、人々の生活文化にどのような影響を与えているのだろうか。

〈解答例〉

インド洋と南シナ海に位置する東南アジアでは、季節風(モンスーン)を利用して古くから交易が盛んだったため、さまざまな民族の言語や宗教がこの地域に根づいた。また、季節風による降水の季節変化は稲の栽培に適していたため、この地域では米を中心とした米食文化が広くみられる。

Q(解答例)

トンレサップ湖は、季節で水位が大きく変動し、特に、雨季になると湖の水位が大きく上昇し、周囲の低地が水没することがあるから。

確認(解答例)

夏は海からの湿った季節風(モンスーン)が吹き込むことで広い範囲で雨季となり、冬は大陸からの乾燥した季節風が吹き込むことで乾季となる。

説明(解答例)

東南アジアは、古代から季節風(モンスーン)を活用した海上交易が行われ、ムスリム商人や中国人、インド人が渡来したことに加え、植民地支配の歴史を経ることで他地域からも移民が集まり、多民族国家が形成された。

地図帳活用

〈ポイント〉

図p.27①、図p.23①で、メコン川、チャオプラヤ川、エーヤワディー川の流路を確認させ、ホーチミンやバンコク、プノンペン、ヤンゴンなどの大都市が流路にあることを確認させ、それらの都市がいずれも大河川の河口部(デルタ)に位置していることに着目させる。

〈そのほかの活用〉

図p.27①、図p.23①で、三角州に稲作地が広がっていること、近海にはさまざまな地域に向かう航路が通っており、現在でも交通の要衝であることなどを確認させる。

3 指導書 Web サポートコンテンツ ① 授業スライド

- 教科書 1 見開きにつき 10~20 枚のスライドを、PowerPoint データと Google スライドデータで収録しています。
- オリジナルの授業スライドを作る際にも、ご活用いただけます。

↓ 高等学校 新地理総合 p.76-77 に対応した授業スライドの例 (一部分を抜粋)

教科書 p.76~77

1 モンスーンの影響と人々の生活

2部 1章 2節 世界の気候と人々の生活
選択事例 自然①

モンスーンの影響を受ける地域での生活
—東南アジア—

学習課題

季節風(モンスーン)は、東南アジアの人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。

<学習のポイント>

- (1) 東南アジアの気候を特徴づける季節風(モンスーン)がもたらす降水量の季節変化や、赤道からの距離は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。
- (2) 季節風は東南アジアの交易にどのような影響を与え、それは、地域の人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。
- (3) 東南アジアでみられる多民族国家では、どのように民族共生を図っているのだろうか。

Q トンレサップ湖周辺で、高床住居がみられるのはなぜだろうか。



p.76 写真4 トンレサップ湖の高床住居

Q トンレサップ湖周辺で、高床住居がみられるのはなぜだろうか。



p.76 写真1・2 雨季・乾季のトンレサップ湖

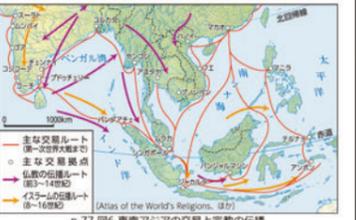
p.76 図3 季節による風向と降水量の変化

A. (例) トンレサップ湖は、季節で水位が大きく変動し、特に雨季になると湖の水位が大きく上昇し、周囲の低地が水没することがあるから。

モンスーンの影響を受ける人々の生活 2

- 赤道付近に位置する島嶼部…1年を通して雨が多い→熱帯雨林気候
- 大陸部…**季節風(モンスーン)**の影響を受ける
 - ・夏は海から大陸に向かって南西の季節風 湿った空気が吹き込む…**雨季**
 - ・冬は大陸から海に向かって北東の季節風 乾いた空気が吹き込む…**乾季**
 - サバナ気候

モンスーンを利用した交易の歴史 2

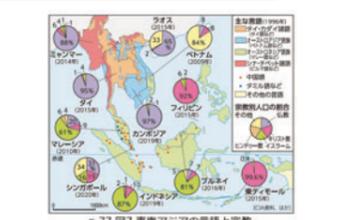


p.77 図6 東南アジアの交易と宗教の伝播

モンスーンを利用した交易の歴史 3

- 宗教の伝播
 - ・**イスラーム(イスラム教)**
…ムスリム商人がもたらす
マレー半島や周辺の島々に広まる
→インドネシアは世界最大のムスリム人口を有する
 - ・**仏教**
…大陸を渡って伝わる
タイやカンボジアなどで広まる
→現在でも人々の生活に大きな影響を与える

モンスーンを利用した交易の歴史 4



p.77 図7 東南アジアの言語と宗教

さまざまな民族が共に暮らす社会 1

- 交易と植民地化の歴史
…多くの民族が混在→**多民族国家**の形成
- (例) マレーシアの民族構成
 - ・マレー系住民(人口の7割)
 - ・中国系住民(華僑・華人)
 - ・インド系住民
 - …民族で異なる言語を使用
→他民族間の会話は英語を使用

さまざまな民族が共に暮らす社会 2

- マレーシアにおける民族間の対立
中国系住民…都市部に多い、経済面で優位
1 経済格差、対立が生じた
マレー系住民…農村部に多い
- 経済格差への対応
…**プロモトラ政策**の導入
→マレー系住民を教育や就労の面で優遇
↓
農業以外の分野にも進出できるよう配慮

確認

東南アジアの大陸部の気候の特徴と季節風の関係を確認しよう。

(例) 夏は海からの湿った季節風(モンスーン)が吹き込むことで広範囲で雨季となり、冬は大陸からの乾燥した季節風が吹き込むことで乾季となる。

説明

東南アジアの国々が多民族国家となった背景を自然環境と歴史の両面から説明しよう。

(例) 東南アジアは、古代から季節風(モンスーン)を活用した海上交易が行われ、ムスリム商人や中国人、インド人が渡来したことに加え、植民地支配の歴史を経ることで他地域からも移民が集まり、多民族国家が形成された。

3 指導書 Web サポートコンテンツ ② 授業プリント

- 授業スライドに対応したプリントの生徒用と教師用(解答入り)を Word データで収録しています。
- また、振り返りの「自己評価欄」も設けています。

↓ 高等学校 新地理総合 p.76-77 に対応した授業プリント(教師用解答)の例

『高等学校 新地理総合』授業プリント

年 組 番/名前

2部 1章 2節 世界の気候と人々の生活		
選択事例 自然 1 モンスーンの影響を受ける地域での生活 —東南アジア—		
1 モンスーンの影響と人々の生活	教科書 p.76~77	年 月 日

□ 学習課題

季節風(モンスーン)は、東南アジアの人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。

<学習のポイント>

- (1) 東南アジアの気候を特徴づける季節風(モンスーン)がもたらす降水量の季節変化や、赤道からの距離は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。
- (2) 季節風は東南アジアの交易にどのような影響を与え、それは、地域の人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。
- (3) 東南アジアでみられる多民族国家では、どのように民族共生を図っているのだろうか。

Q トンレサップ湖周辺で、高床住居がみられるのはなぜだろうか。

A. [(例) トンレサップ湖は、季節で水位が大きく変動し、特に雨季になると湖の水位が大きく上昇し、周囲の低地が水没することがあるから。]

● モンスーンの影響を受ける人々の生活

- 東南アジア
 - …インドシナ半島を中心とする大陸部、マレー半島および列状に連なる島々からなる島嶼部
- 赤道付近に位置する島嶼部…1年を通して雨が多い→熱帯雨林気候
- 大陸部… [**季節風(モンスーン)**] の影響を受ける
 - ・夏は海から大陸に向かって南西の季節風 湿った空気が吹き込む… [**雨季**]
 - ・冬は大陸から海に向かって北東の季節風 乾いた空気が吹き込む… [**乾季**]
 - サバナ気候
- 環境を改変した暮らし
メコン川やチャオプラヤ川などの河口付近には広大な [**三角州(デルタ)**] が発達
→雨季には水没→居住や農業には不向き→運河や水路の敷設→人々が移り住んで、農業・商業が活発に

われた。特に島嶼部は海上交通の拠点や言語など、さまざまな文化が流入

商人がもたらす

アは世界最大のムスリム人口を有する

の生活に大きな影響を与える

多民族国家) の形成

語を使用

系住民：農村部に多い

教育や就労の面で優遇

よう。

(例) 夏は海から湿った季節風(モンスーン)が吹き込むことで広範囲で雨季となり、冬は大陸からの乾燥した季節風が吹き込むことで乾季となる。

▼ 説明

東南アジアの国々が多民族国家となった背景を自然環境と歴史の両面から説明しよう。

(例) 東南アジアは、古代から季節風(モンスーン)を活用した海上交易が行われ、ムスリム商人や中国人、インド人が渡来したことに加え、植民地支配の歴史を経ることで他地域からも移民が集まり、多民族国家が形成された。

3 指導書 Web サポートコンテンツ ③ 評価問題例 (テスト例)

- テスト例とその解答を Word データで収録しています。
- 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の評価観点も示しています。

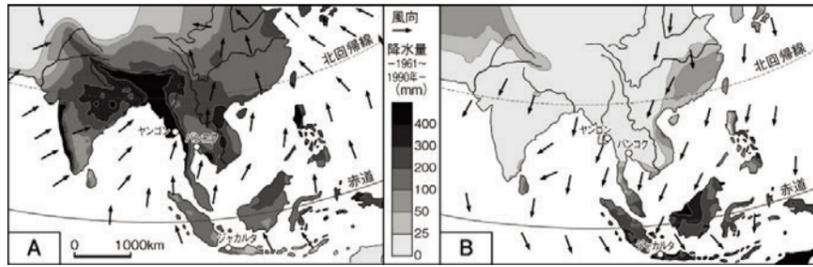
↓ 高等学校 新地理総合 2部 1章 2節 に対応した評価問題例

第2部 国際理解と国際協力

第1章 生活文化の多様性と国際理解 2節 世界の気候と人々の生活

選択事例 自然1 モンスーンの影響を受ける地域での生活 -東南アジア-

【問1】ユウダイさんたちは自然環境が東南アジアの人々の生活に与えてきた影響について調べた。以下の図と会話文を参考にして、以下の問いに答えなさい。



【図1】



ユウダイさん 思い出した！ そうだね。
 ケイジュさん つまりAの地図は(④)月、Bの地図は(⑤)月の地図なんだね。
 ユウダイさん 【図2】は主な交易ルートと宗教がどのように伝わってきたのかを表しているんだね。
 ケイジュさん 調べてみると、東南アジアの国々では、その国の言語だけでなく、中国系やインド系の言語を使用する人々が同じ国に住んでいることが分かったよ。これもさまざまな地域の人たちが行き来した影響なんだね。
 ユウダイさん そう、でも交易だけでなく、19世紀ごろに進んだ植民地化の歴史もあって、さまざまな地域の言語や宗教が混在しているみたい。
 ケイジュさん (①)という自然環境を与えた影響や歴史的背景が地域の多様性を生み出していることがよく分かったね。

- (1) 会話文の空欄(①)～(⑥)に適する語句を、下のア～オから選んで答えなさい。(思考・判断・表現)
- ア 7 イ 季節風 ウ 南西 エ 1 オ 北東
- (2) 【図2】の凡例中の(C)と(D)に入る宗教を答えなさい。(知識・技能)
- (3) 下線部aについて、海外在住中国人のうち、居住地の国籍を有する人々のことを何とよぶか答えなさい。(知識・技能)
- (4) マレーシアでは中国系住民が、マレー系住民よりも経済面で優位に立つことが多く、対立が起こることもあった。そこで、両者の格差を是正するための政策がとられたが、その政策の名称を答えなさい。(知識・技能)
- (5) 下線部bについて、下の【図3】は20世紀初めの東南アジアの植民地を表した地図である。また、【図4】は現在の東南アジアのある国の街角を撮影したものであるが、これがどの国であるか、その理由も含めて答えなさい。(思考・判断・表現)



【図3】



【図4】

ユウダイさん 【図1】は二つの違う
 ケイジュさん Aの月は降水量が多く
 ユウダイさん 風向の矢印を見ると、
 ね。
 ケイジュさん 季節によって風向が変
 ユウダイさん この風が吹くことによ
 ケイジュさん 確か授業のときに、東
 き、11～4月ごろに

3 指導書 Web サポートコンテンツ ④ 特設ワークシート

- 生徒用と教師用(解答入り)の2種類をご用意しています。
- 主体的・対話的で深い学びに対応したワークシートです。

↓ 高等学校 新地理総合 p.208-209 に対応したワークシートの例 (生徒用)

アクティブ <small>持続可能な社会に向けて</small>	自然災害に強い土地利用は？ <small>新旧地形図を比較して災害リスクと防災を考えよう</small>	教科書 p.208～209
--------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	------------------

STEP 1 新旧地形図で集落の立地条件を読み取ろう

教科書 p.208 図1で示した A～C の住宅地のうち、明治時代から集落が形成されていた場所はどこだろうか。図2と比較して一つ答えよう。また、この場所に集落が形成された理由を、標高などの自然条件、交通などの社会条件などから考えよう。

地域(A～C)	理由(自然条件)	理由(社会条件)

STEP 2 新旧地形図で自然災害のリスクを読み取ろう

STEP 1 で選択しなかった二つの地域は、近年宅地化が進んだ地域である。これまで経験したことのないような大雨が発生した場合、それぞれの地域ではどのような自然災害のリスクがあり、どのような備えをしておくよいのだろうか。

地域(A～C)	自然災害のリスク	リスクに対する備え

STEP 3 新旧地形図で自然災害への対策を読み取ろう

氾濫原は田として利用されてきたが、現在は土地利用に変化がみられる。どのように変化してきたのだろうか。また、このような変化を可能にしたのはどのような洪水対策だろうか。図1と図2を比較して答えよう。

変化と洪水対策	
---------	--

STEP 4 自然災害に強い大きな病院の立地を構想しよう

図1のエリアのなかに、自然災害に強い大きな病院を建設するとしたら、どこに立地させるのがよいだろうか。図1に赤色の●を記入しよう。また、その場所を選んだ理由をまとめよう。

選んだ理由	
-------	--

STEP 5 意見交換をしてあなたの考えをまとめよう

STEP 4 で構想した場所について意見交換をしよう。意見交換後、あなたの考えは変わっただろうか。考えが変わった理由、変わらなかった理由をまとめよう。

--

アクティブの振り返り ・自然災害に強い土地利用について、資料や学習したことをもとに、自身の考えをまとめることができた。(◎ ○ △) ・理由を明らかにして、自身の考えを表現することができた。(◎ ○ △)	◎…よくできた ○…できた △…あまりできなかった
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------

3 指導書 Web サポートコンテンツ ⑤見通し・振り返りシート

- 生徒用と教師用（評価・解答入り）の2種類をご用意しています。教師用には設問の解答とループリックにも使える評価規準例を入れています。また、Word版とGoogleスプレッドシート版の2種類のデータがございます。
- 自己評価のための単元ポートフォリオとして活用できます。

↓高等学校 新地理総合 2部1章2節の例

学習の見通し・振り返りシート

2部1章2節 選択事例 自然1
モンスーンの影響を受ける地域での生活 —東南アジア—

■事例の主題
東南アジアは、季節風（モンスーン）の影響を強く受けた地域である。このような気候を生かして、東南アジアではどのような生活文化が育まれてきたのだろうか。

■事例の見通し
(1) この事例の主題について、現時点での自分の考えをまとめよう。

(2) この事例の主題を考察するために必要な情報や、その情報を収集するための方法について見通しを立てよう。

■学習後の予想・学習後の振り返り

本時の項目と学習課題	学習後の振り返り
1. モンスーンの影響を受ける地域での生活	季節風（モンスーン）は、東南アジアの人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。
2. 気候を生かした農業と人々の生活	東南アジアでは、気候を生かしてどのような農業が発達してきたのだろうか。

■事例の振り返り

(1) 東南アジアの自然環境は、人々の生活文化にどのような影響を与えているのだろうか。

(2) この事例で学んだことから、今後の学習や生活に生かしたいことをまとめよう。

【ループリック評価】をもとに自己評価しよう

評価:	評価:	評価:	指導者コメント欄
(加・注)	(思・判・表)	(注)	

【ループリック評価表】

	「知識・技能」の観点	「思考・判断・表現」の観点	「主体的に学習に取り組む態度」の観点
十分に到達できている (A)	東南アジアでみられる自然環境が、地域の生活文化や産業に影響を与えている点や、それらの生活文化や産業が地域を支えている点について、教科書や地図帳などのグラフや写真、文章から読み取り、理解することができた。	自然環境が人々の生活文化や産業に与える影響について、考察し、表現することができた。	モンスーンの影響を受ける地域での生活について、意図的に考察することができた。
一部は到達できている (B)	東南アジアでみられる自然環境が、地域の生活文化や産業に影響を与えている点について、教科書や地図帳の資料から読み取れず、まとめることができなかった。	自然環境が人々の生活文化や産業に与える影響について、あまり表現することができなかった。	モンスーンの影響を受ける地域での生活について、意図的に考察することができなかった。
到達に努力をする (C)	東南アジアでみられる自然環境が、地域の生活文化や産業に影響を与えている点について、教科書や地図帳の資料から読み取れず、まとめることができなかった。	自然環境が人々の生活文化や産業に与える影響について、あまり表現することができなかった。	モンスーンの影響を受ける地域での生活について、意図的に考察することができなかった。

3 指導書 Web サポートコンテンツ ⑥教科書本文

- プリントやテストの作成に便利な教科書のテキストデータです。

↓高等学校 新地理総合 p.76-77 の例

p.76-77 1 モンスーンの影響と人々の生活

選択事例
自然1
モンスーンの影響を受ける地域での生活 —東南アジア—

主 題 東南アジアは、季節風（モンスーン）の影響を強く受けた地域である。このような気候を生かして、東南アジアではどのような生活文化が育まれてきたのだろうか。

1. モンスーンの影響と人々の生活
学習課題 季節風（モンスーン）は、東南アジアの人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。
0 トンレサップ湖周辺で、高床住居がみられるのはなぜだろうか。

モンスーンの影響を受ける人々の生活
カンボジアのトンレサップ湖周辺で暮らす人々は、高い葦の上に住居を構えている（写真4）。このような住居がみられるのは、季節風（モンスーン）の影響で雨季になると湖の水量が増えるためである（写真1）。東南アジアは、マレー半島および列島に連なる島々からなる島嶼部と、インドシナ半島を中心とした大陸部に分けられる。島嶼部が位置する南緯付近は、1 季を通じて雨が多く、熱帯雨林気候になっている。一方、インドシナ半島は、夏は雨季、冬は乾季をむかえるサバナ気候になっている（図3・5）。熱帯に属するこの地域では、気温と湿度が高いため、通気性のよい衣服が好んで着用されている（写真3）。人々は自然環境に応じた暮らしを営んできたが、地域によっては環境を改造して新たな生活文化を築くこともあった。例えば、メコン川などの河口付近に形成されている広大な三角洲（デルタ）では、雨季には水没する場所が多く、居住や農業には不向きであった。しかし、近代以降は運河や排水路がつくられ、土地の改良も行われたことで人々が移り住み、農業・産業ともに活発になった。

モンスーンを利用した交易の歴史
東南アジアでは、古代から季節風を活用した海上交易が行われてきた（図4）。特に島嶼部は海上交通の拠点となった。東南アジアの各地には、西アジアのムスリム商人をはじめ、中国やインドなどから多くの人が渡来し、言語や宗教といったさまざまな文化がもたらされた（図7）。宗教を別にとると、ムスリム商人がもたらしたイスラーム（イスラム教）は、交易の拡大とともにマレー半島や周辺の島々に広がった。現在、インドネシアは世界最大のムスリム人口をもつ国として知られている。大陸を渡って伝えられた仏教は、タイやカンボジアなどで現在でも人々の生活に大きな影響を与えている。

さまざまな民族が共に暮らす社会
交易や植民地化の歴史を通して、東南アジアの国々には多くの民族が混在する多民族国家となった。例えばマレーシアでは、マレー系住民が人口の7割を占める一方で、華僑や華人とよばれる中国系住民や、インド系住民も多い。マレー系住民はマレー語、中国系住民は中国語、インド系住民はタミル語を日常語として用いるが、他民族間で会話をする際には英語も用いられる。マレーシアでは、都市部に多く経商で富めた中国系住民と、農村部に多いマレー系住民との間に対立が生じた。そのためマレーシア政府は、マレー系住民を教育や就労の面で優遇して農業以外の分野にも進出できるように配慮する「ブミプラ政策」を導入し、民族の共生を進めている。

1 雨季のトンレサップ湖（カンボジア、2019年10月）
2 乾季のトンレサップ湖（カンボジア、2019年3月）
3 季節による風向と降水量の変化
4 トンレサップ湖の高床住居（カンボジア）
5 主要都市の気候と降水量
6 東南アジアの気候と降水量の分布
7 東南アジアの言語と宗教
8 ベトナムの民族衣装アオザイを着た人（ベトナム、ハノイ、2023年8月） アオザイは、木綿などの薄い生地で作られているため、通気性が高い。

1 華僑 中国から外国に移住した中国人で、中国国籍を有する人々のこと。
2 華人 外国で生まれ、その国の国籍を取得した中国人の人々のこと。華僑も含めた中国系住民を広く指す場合もある。

補記 東南アジアの大陸部の気候と季節風の関係を詳しく説明しよう。
説明 東南アジアの国々が多民族国家となった背景を自然環境と歴史の両面から説明しよう。

地図帳活用 東南アジアの地図で、大きな河川とその流域の都市を調べよう。

3 指導書 Web サポートコンテンツ ⑦教科書紙面ビューア

- 教科書全ページの紙面を閲覧できるビューアです。スクリーンなどに投影することで、教科書紙面を大きく提示しながら授業ができます。

↓高等学校 新地理総合 p.70-71 の例

6 温帯の生活

学習課題 温帯の気候と暮らしは、人々の生活とどのように結び合っているのだろうか。

四季のある温帯の生活
温帯は、緯度からみられる温帯な気候で、四季の変化が顕著である。冬から春にかけては、多くの人が生活している。日本の大半も温帯に属する。地中海に面するイタリアでは、夏は強い日差しにより暑く乾燥するが、冬は比較的暖かい。このため、夏は軽装、冬はコートやジャンパーを着用する（写真1）。食事は地中海性気候に合った料理が多い（写真2）。日当たりの良い畑で野菜が育てられ、冬は収穫の時期を迎えている（写真3）。日当たりの良い畑で野菜が育てられ、冬は収穫の時期を迎えている（写真3）。

(1) 地中海性気候 (Csa) 地中海性気候は、主に南緯の大陸西岸に分布する。毎時最低気温が低く、冬は降雪の少ない地域もある。夏は乾燥し、冬は比較的暖かい。地中海性気候は、地中海沿岸や南緯の大陸西岸に分布する。毎時最低気温が低く、冬は降雪の少ない地域もある。夏は乾燥し、冬は比較的暖かい。地中海性気候は、地中海沿岸や南緯の大陸西岸に分布する。

(2) 西岸海洋性気候 (Cfb) 西岸海洋性気候は、主に大陸西岸にみられる。温帯のなかでは最も高緯度に分布する。年降水量はあまり多くないが、季節にわたってほぼ均等に降る。大気は湿潤で、年間を通じて安定した気候である。また、混合雲や霧が頻りに降る。冬や夏の日照時間が短く、夏は比較的涼しい。西岸海洋性気候は、北緯の大陸西岸に分布する。年降水量はあまり多くないが、季節にわたってほぼ均等に降る。大気は湿潤で、年間を通じて安定した気候である。また、混合雲や霧が頻りに降る。冬や夏の日照時間が短く、夏は比較的涼しい。西岸海洋性気候は、北緯の大陸西岸に分布する。

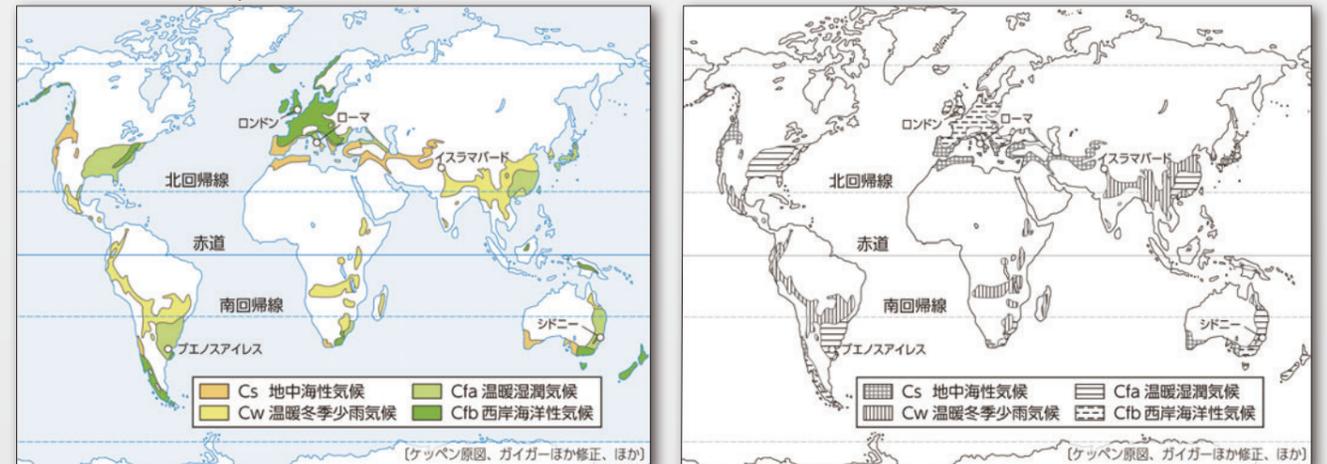
(3) 温暖冬季少雨気候 (Cwa) 温暖冬季少雨気候は、ササキ気候の亜種である。大陸東岸の一部に分布する。夏には乾燥するが、冬は比較的暖かい。温暖冬季少雨気候は、北緯の大陸東岸に分布する。夏には乾燥するが、冬は比較的暖かい。温暖冬季少雨気候は、北緯の大陸東岸に分布する。

(4) 亜寒帯湿潤気候 (Cfb) 亜寒帯湿潤気候は、北緯の大陸東岸に分布する。冬は比較的暖かい。亜寒帯湿潤気候は、北緯の大陸東岸に分布する。冬は比較的暖かい。亜寒帯湿潤気候は、北緯の大陸東岸に分布する。

3 指導書 Web サポートコンテンツ ⑧教科書掲載図版〈カラー/モノクロ〉

- プリントやテストの作成などに利用できる教科書掲載図版のデータです。
- カラーとモノクロの2種類をご用意しています。

↓高等学校 新地理総合 p.71 図⑥ (左)〈カラー〉(右)〈モノクロ〉



● 高等学校 新地理総合ノート

判型 B5判
ページ数 192ページ

内容 ・教科書に完全準拠したノートです。
・確認問題と基本問題のほかに、発展問題も掲載しています。
・端末活用に適したデジタル版もご用意しています。(→本冊子 p.14-15)

↓ 高等学校 新地理総合 p.76-77 に対応したページの例 (教師用赤刷り版)

2部1章2節 世界の気候と人々の生活 選択事例① 東南アジア

1 モンスーンの影響と人々の生活

教科書 p.76-77
地図帳 p.25-31
地図帳 p.21-24

学習課題 ▶ 季節風(モンスーン)は、東南アジアの人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。

Q トンレサップ湖周辺で、高床住居がみられるのはなぜだろうか。

トンレサップ湖は、季節で水位が大きく変動し、特に、㉗ 雨季 になると湖の水位が大きく上昇し、周囲の低地が水没することがあるから。

基本 空欄に適語を記入してまとめよう。

■モンスーンの影響を受ける人々の生活

東南アジアはマレー半島および列状に連なる島々からなる島嶼部と、インドシナ半島を中心とした大陸部からなる。島嶼部が位置する赤道付近は、1年を通して雨が多い熱帯雨林気候となっている。

① 季節風(モンスーン) の影響を受けるインドシナ半島では、夏は② 雨季、冬は③ 乾季 となるサバナ気候である。メコン川流域の④ 三角州(デルタ) は、②には水没する場所があるが、①には運河や用水路がつくられ、農業・商業ともに活発になっている。

■モンスーンを利用した交易の歴史

東南アジアでは、古代から①を活用した海上交易が行われ、ムスリム商人をはじめ、中国やインドなどから多くの人々が渡り住み始めた。宗教を例にすると、ムスリム商人がもたらした⑥ 仏教 は、タイやカンボジアなどで、現在でも多くの人々が信じている。

■さまざまな民族が共に暮らす社会

交易や植民地化の歴史を通して、東南アジアの国々は多民族国家となった。例えばマレーシアでは、7割を占めるマレー系住民のほか、中国系住民やインド系住民も多い。マレーシアやインドネシアは、異なる民族や文化の融合を促進するために、マレー系住民を教育や就労の面で優遇する⑩ プミプトラ政策 を導入し、民族間の関係を改善した。

ここまで学習してきた内容をもとに「確認」「説明」を記入しよう。

確認 東南アジアの大陸部の気候の特徴と季節風の影響を説明しよう。

説明 東南アジアの国々が多民族国家となった背景を説明しよう。

発展

1. 季節風(モンスーン)は、地域の降水量に大きな影響を与えている。このことについて述べた次の文の空欄①②には風向を、③④には適切な語句をそれぞれ答えよう。

東南アジアでは、7月には(㉗) 季節風が海から大量の水蒸気を運んでくるため、特に沿岸部の降水量が多い。これに対し、1月には(㉘) 季節風が大陸から(㉙) した空気を運んでくるため、降水量は少ない地域が多い。ただし、1月であっても、(㉚) 付近に位置する島々では降水量の多い地域がある。

㉗ (南西) ㉘ (北東) ㉙ (乾燥) ㉚ (赤道)

2. 右の円グラフ①～③は、インドネシア、ミャンマー、フィリピンのいずれかの国の宗教別人口割合を示したものである。①～③に該当する国名をそれぞれ答えよう。

東南アジアの主な国の宗教別人口の割合

① (フィリピン) ② (インドネシア) ③ (ミャンマー)

(ノート欄)

【解説】プミプトラ政策
プミプトラ政策はマレー系などの先住民(プミプトラ)の社会的・経済的・政治的地位を向上させるという成果を上げた。例えば、マレー系の人々を中心としたプミプトラに対して国立大学への入学や公務員としての採用を優遇したり、税の負担を軽減したりした。しかし、民族間の格差はまだ大きく、政策の見直しも検討されている。

● 高校生の地理総合ノート

判型 B5判
ページ数 120ページ

内容 ・教科書に完全準拠したフルカラーのノートです。
・確認問題と基本問題で基礎の定着を図れます。
・端末活用に適したデジタル版もご用意しています。(→本冊子 p.14-15)

↓ 高校生の地理総合 p.144-145 に対応したページの例 (教師用赤刷り版)

2部1章5節 事例9 宗教・歴史 開発の歴史と生活文化—ラテンアメリカ—

白地図check ラテンアメリカの自然

新p.93-99 旧p.71-76

トライ① 地図帳を参考にして、下の図の㉖～㉙に自然地域名称を記入しよう。

トライ② 地図帳を参考にして、下の図の㉚～㉜にあてはまる都市名を記入しよう。

トライ③ 赤道を赤でなぞり、山脈を茶で着色しよう。

㉖ 西インド 諸島 ㉗ カリブ 海
㉘ オリノコ 川 ㉙ ギアナ 高地
㉚ アマゾン 川 ㉜ セルバ

㉖ メキシコ 高原 ㉘ アンデス 山脈

ラテンアメリカでは大きな川は、大西 洋に注いでいるね。

↑ ラテンアメリカの自然環境

2部1章5節 事例9 宗教・歴史 開発の歴史と生活文化—ラテンアメリカ—

1 多様な民族によって生まれた独自の生活文化

学習課題 ▶ ヨーロッパ人の進出は、人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか？

チェック 教科書を参考にして、次の文章に適語を記入しよう。

◆ブラジルのリオデジャネイロの恒例行事であるカーニバルは、もともと謝肉祭とよばれるヨーロッパにおける① カトリック の行事だったが、アフリカ系の人々が参加することで、サンバのリズムで踊るにぎやかな祭りに変化した。

◆ラテンアメリカには、インカ帝国に代表されるように② 先住民 の高度な文明があった。しかし、スペインやポルトガルなどのラテン系のヨーロッパ人が進出し、③ 植民地 を広げたことで、その文明は急速に衰退した。

◆③時代には、②は④ ブランデーション や鉱山などで働かせられ、厳しい労働や⑤ 感染症 の影響でその人口が減少すると、アフリカから⑥ 奴隷 として大勢の人々が連れてこられた。そして、それらの人々の⑦ 混血 が進むことで人種と民族がさらに多様化した。

◆アンデスの高地は⑧ 高山気候 の特色をもち、気温の⑨ 日較差 が20～30℃と大きく、夜は0℃近くまで冷え込むことがある。一方、日中は日ざしが強く、帽子は欠かせない。人々は⑩ アルパカ の毛で編んだ衣服を重ね着して、つばの広い帽子をかぶり、寒さや強い紫外線を防いでいる。

トライ 教科書 p.145 図3を参考にして、右の図において、㉖～㉙にあてはまる人種・民族を記入しよう。

㉖ ヨーロッパ系 ㉘ 混血
㉗ 先住民

ラテンアメリカには⑪の人々の割合が高い国が多いね。これは、⑫ ヨーロッパ の植民地だったラテンアメリカの国々では、厳しい労働や感染症で先住民の人口が減少し、⑬ アフリカ からの奴隷が連れてこられたという歴史的背景があるんだよ。

↑ ラテンアメリカの主な言語と人種・民族

(ノート欄)

【解説】カトリックの伝播
スペインはラテンアメリカ地域の植民地支配のために、カトリック修道会による伝道団を形成させ、先住民の改宗を進めるとともに、支配を強固にしようとした。

【解説】先住民
ラテンアメリカの先住民は、最終氷期までにシベリアからアラスカに渡って南下し、マヤ文明やインカ文明などを形成した。インディオ、インディヘナなどよばれる。

【解説】ブランデーションと奴隷
世界各地で熱帯作物のブランデーションが建設されたが、ラテンアメリカでも同様に行われた。過酷な労働とヨーロッパから持ち込まれた感染症によって、先住民の数が激減した後、アフリカから奴隷が連れてこられた。

指導資料

準拠ノート

デジタル教材

● デジタル準拠ノート

高等学校 新地理総合 高校生の地理総合

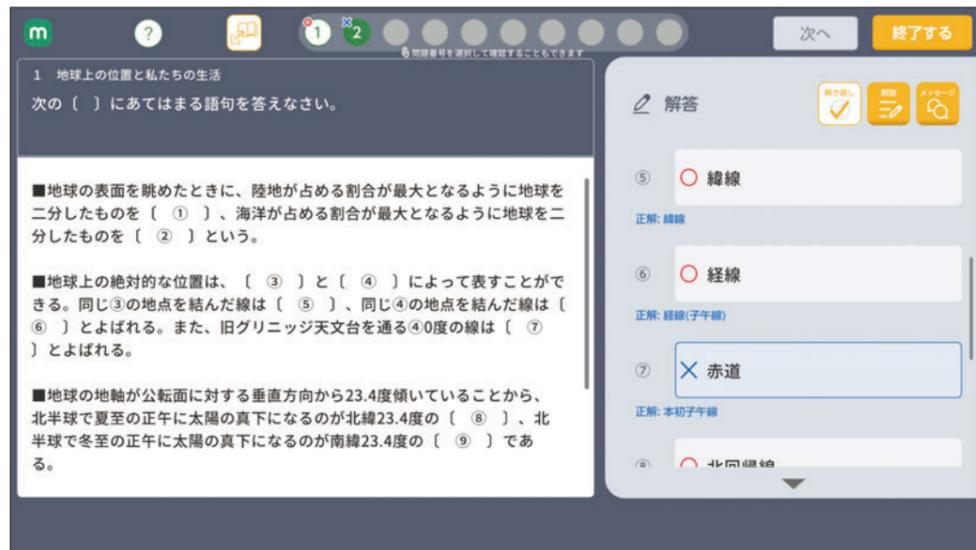
- デジタル準拠ノートは、学習者用端末で自学自習できるドリル教材です。
- 生徒向けには自動採点や復習機能、先生向けには課題管理や評価アシストといった、デジタル版ならではの機能をご利用いただけます。
- 課題設定をする際には、Google Classroom 上でも生徒に通知することができます。

※デジタル準拠ノートの機能は、一部変更になる場合がございます

生徒用機能

デジタルならではの機能

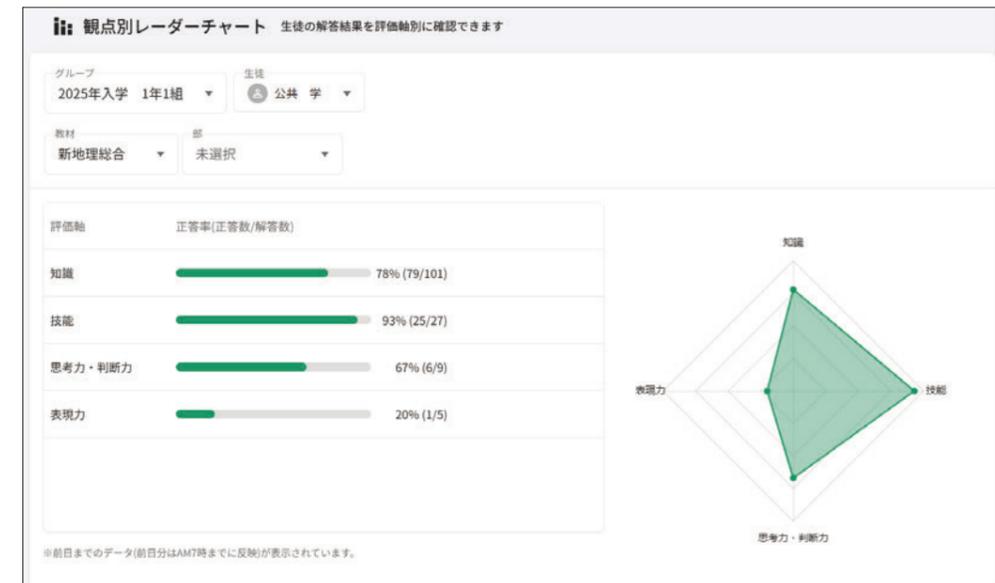
- 解答画面で、手書きまたはキーボード入力を選択できます。
- 解答は自動で正誤判定されるので、先生のご負担軽減にもつながります。
- 繰り返し何度も演習することができるため、基礎知識の確実な定着が図れます。



先生用機能

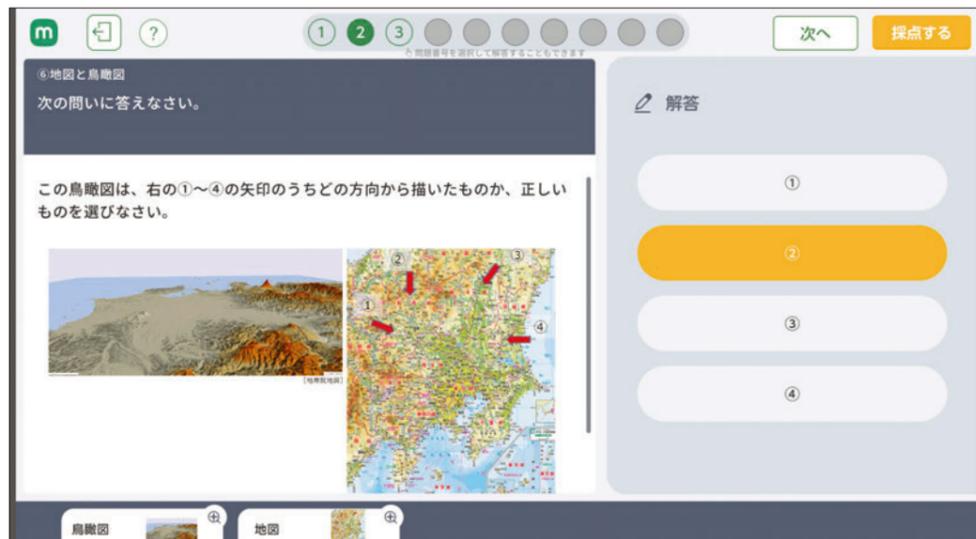
評価に役立つ「観点別レーダーチャート」

- 先生用管理ページには、「観点別レーダーチャート」など、生徒の学習状況を「見える化」できる機能を充実させています。また、学習ログはCSVで出力でき、評価・評定に活用することができます。



オリジナルの「見方・考え方問題」

- 書籍版の準拠ノートには未収録の、資料の読み解きに焦点を当てた「見方・考え方問題」にも取り組むことができます。
- タブレット端末ならではの書き込み機能を用いた、画面をタップしたり多数の資料を参照したりして解答する問題も収録しています。資料への書き込み問題も自動で正誤判定されます。



オリジナルの問題を作成できる「作問ツール」

- 既存の問題だけでなく、先生が独自に問題を作れる「作問ツール」を収録しています。出題形式や評価軸も任意に設定できるほか、「指導書 Web サポート」(別売、→本冊子 p.11) 収録の図版データを取り込んで作問に活用することもできます。



帝国書院ウェブサイト 会員登録方法のご案内

指導書 Web サポートのほかに、ChiReKo (定期刊行冊子) のバックナンバーや、写真・動画、統計など、あらゆる情報を掲載！



帝国書院ウェブサイト ログインページ▶



帝国書院ウェブサイトのトップページ右上の「ログイン」ボタンをクリックします。



「会員登録」をクリックして、登録画面へ。

届いたメールに記載の URL にアクセスして
パスワードや所属先などの必要事項を入力

※メールは迷惑メールに入っている場合がございます

必要事項の入力は、3分ほどで済む簡単な
ものです。



会員登録が完了し、ログイン後は「会員ページ」から、Web サポートなどの各種サービスを見ることが出来ます。

※サイト内の画面は、変更になる場合がございます